

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※◎:警報レベル ○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~2週
	第1週	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	第1週	第2週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)	(46)																
インフルエンザ	78116 16.30	301 6.84	928 ◎20.17	▲	125 7.35	369 ○19.42	▲	79 ○19.75	105 ○26.25	▲	41 4.10	161 ○16.10	△	56 4.31	293 ○22.54	▲	1229
小児科定点 (定点医療機関数)	(30)																
RSウイルス感染症	909 0.30	13 0.46	9 0.30	▼	3 0.27	1 0.08	▼	1 0.33		▽	7 1.17	5 0.83	▼	2 0.25	3 0.38	△	22
咽頭結膜熱	728 0.24	4 0.14	16 0.53	△	3 0.27	10 0.77	△		2 0.67	△	1 0.17	2 0.33	△		2 0.25	△	20
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	2481 0.82	29 1.04	118 3.93	△	19 1.73	54 4.15	△	1 0.33	11 3.67	△	6 1.00	37 6.17	△	3 0.38	16 2.00	△	147
感染性胃腸炎	9560 3.15	88 3.14	177 5.90	△	33 3.00	78 6.00	△	14 4.67	6 2.00	▼	31 5.17	56 9.33	△	10 1.25	37 4.63	△	265
水痘	1331 0.44	10 0.36	26 0.87	△	6 0.55	18 ○1.38	△				3 0.50	7 ○1.17	△	1 0.13	1 0.13		36
手足口病	332 0.11	1 0.04	1 0.03	▼		1 0.08	△	1 0.33		▽							2
伝染性紅斑	1167 0.38	20 0.71	64 ◎2.13	△	9 0.82	39 ◎3.00	△	6 ◎2.00	14 ◎4.67	△	5 0.83	6 1.00	▲		5 0.63	△	84
突発性発しん	471 0.16	8 0.29	14 0.47	△		1 0.08	△	2 0.67	2 0.67		3 0.50	7 1.17	△	3 0.38	4 0.50	△	22
ヘルパンギーナ	32 0.01	1 0.04	4 0.13	△	1 0.09	4 0.31	△										5
流行性耳下腺炎	195 0.06	1 0.04	2 0.07	▲				1 0.33		▽					2 0.25	△	3
眼科定点 (定点医療機関数)	(8)																
急性出血性結膜炎	10 0.01																
流行性角結膜炎	362 0.54	14 1.75	9 1.13	▽	14 3.50	6 1.50	▽		2 2.00	△		1 1.00	△				23
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)																
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	26 0.05																
クラミジア肺炎	-																
マイコプラズマ肺炎	74 0.15	3 0.30	1 0.10	▼	3 0.75	1 0.25	▽										4
細菌性髄膜炎	6 0.01																
無菌性髄膜炎	6 0.01																

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	2		1	2	※内、平成30年第52週追加報告1人。
腸管出血性大腸菌感染症	無症状病原体保有者	1		3		型別:O115 VT1 2人、O26 VT1 1人、O血清群不明 VT1 1人。
レジオネラ症	患者	1				
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	患者	1			2	90日以内の海外渡航歴:無し 3人。
侵襲性肺炎球菌感染症	患者	1		1		※内、第1週追加報告1人。 肺炎球菌ワクチン接種歴:3回 1人、無し 1人。
百日咳	患者	9				ワクチン接種歴:4回 8人、不明 1人。小児 8人、大人 1人。

<通信欄>

※【山形県】インフルエンザ注意報が発令されました。(1月16日)
 ※【山形県】伝染性紅斑警報が発令されました。(1月16日)
 ※トピックスでインフルエンザ、伝染性紅斑について掲載しています。
 (インフルエンザの迅速キットによる型別、集団発生状況については2ページをご覧ください。)

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙をご覧ください。
 ※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	5	16	40	54	50	49	63	76	49	52	36	120	27	45	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	44	48	49	40	25	40									928
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	1	3	4											1	9
咽頭結膜熱		3	2	4		3	1	1	2						16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	5	4	8	19	21	14	15	16	4	10		1	118
感染性胃腸炎	2	8	25	10	27	22	20	13	6	3	9	25	4	3	177
水痘		2	1	1		4	4	4	3	1	1	5			26
手足口病					1										1
伝染性紅斑		1	3	3	10	9	16	8	2	5	4	3			64
突発性発しん		5	6	3											14
ヘルパンギーナ				3					1						4
流行性耳下腺炎									1					1	2

< 平成30年11月 月報 >

2018年12月19日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～11月	
	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月	10月	11月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	11	17	6	6	1	1	2	5	2	5	194
	定点当たり	1.10	1.70	1.50	1.50	1.00	1.00	1.00	2.50	0.67	1.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	12	7	1	1	2	3	6	1	3	2	85
	定点当たり	1.20	0.70	0.25	0.25	2.00	3.00	3.00	0.50	1.00	0.67	
尖圭コンジローマ	報告数	1	2			1			1		1	32
	定点当たり	0.10	0.20			1.00			0.50		0.33	
淋菌感染症	報告数	4	6	2	2					2	4	42
	定点当たり	0.40	0.60	0.50	0.50					0.67	1.33	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	6	7		1		1	1	1	5	4	77
	定点当たり	0.60	0.70		0.25		1.00	0.50	0.50	1.67	1.33	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	31	21	16	7	1	1	1	1	13	12	222
	定点当たり	3.10	2.10	4.00	1.75	1.00	1.00	0.50	0.50	4.33	4.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数	1		1								1
	定点当たり	0.10		0.25								

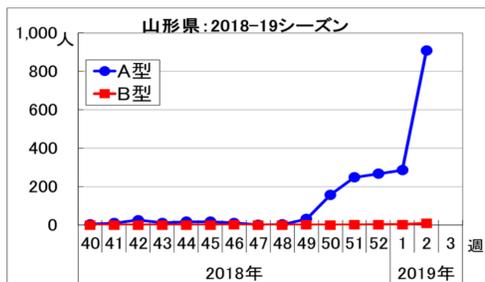
< トピックス >

インフルエンザ注意報が発令されました

第2週の県平均のインフルエンザ定点当たり報告数は20.17人で、注意報基準値(10人)を超えたため、県は1月16日に「インフルエンザ注意報」を発令しました。

- ・警報開始基準値:30人 警報終息基準値:10人 注意報基準値:10人
- ・第2週 定点当たり報告数 (山形県:20.17人)
- 村山 19.42人、最上 26.25人、置賜 16.10人、庄内 22.54人

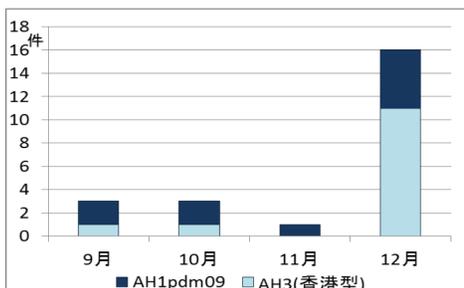
1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第2週)



	A型	B型
村山	362	6
最上	105	0
置賜	158	3
庄内	283	1
計	908	10

※型別不明:10件

2 インフルエンザウイルス分離・検出状況(衛生研究所 1月9日現在)



ウイルス型	検出数	
A型	AH1pdm09	10
	AH3(香港型)	13
B型	B型(山形系統)	0
	B型(ビクトリア系統)	0

※地区別のウイルス分離状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

3 集団発生情報(山形県健康福祉企画課まとめ 第2週)

	村山	最上	置賜	庄内
幼稚園・保育所	1			1
小学校	1			
福祉施設		2		4

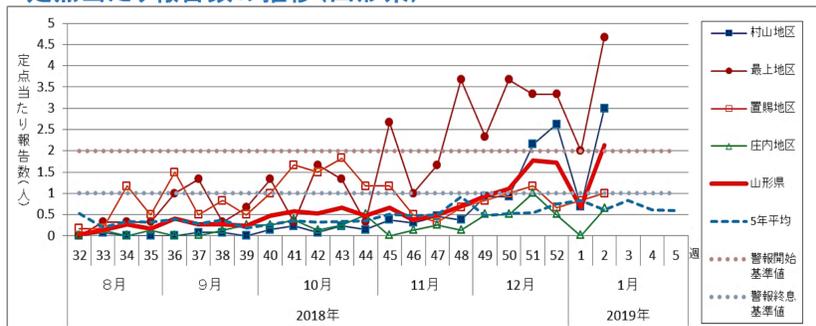
※数字は施設数(措置なしを含む)

伝染性紅斑(りんご病)警報が発令されました

第2週の県平均の伝染性紅斑定点当たり報告数は2.13人で、警報開始基準値(2人)を超えたため、県は1月16日に「伝染性紅斑警報」を発令しました。

- ・警報開始基準値:2人 警報終息基準値:1人
- ・第2週 定点当たり報告数(山形県:2.13人)
- 村山:3.00人、最上:4.67人、置賜:1.00人、庄内:0.63人

・定点当たり報告数の推移(山形県)



伝染性紅斑とは

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19に感染することによっておこる感染症です。典型例では両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」とも呼ばれます。

《症状》10～20日の潜伏期の後、両頬に鮮明な赤い発疹が現れ、続いて手足にもレース様の発疹が現れます。なお、頬に発疹が現れる前に、風邪のような症状がみられ、この時期に感染力が最も強くなります。発疹が出て、伝染性紅斑と診断された頃には感染力はほぼなくなっています。

予後は通常良好ですが、妊婦が感染した場合、胎児水腫や流産を起こすことがあるので注意が必要です。

《予防法》伝染性紅斑は、感染力のある時期には特徴的な症状を示さないため、日頃からの手洗い・うがいが必要です。

